

つわぶきだより 5月号

文書：桑原教諭

編集：長田輪（津和野高校卒業生）

①寮通信をお届けします

つわぶき寮へようこそ！66名になりました。

【寮務部長挨拶】

津和野高校勤務5年目、今年度寮務部長を務めさせていただきます桑原と申します。この度の新型コロナウイルス禍のなか、皆様方におかれましては不安な日々を過ごされてきたことと思います。学校や寮における新型コロナウイルス感染症対策では、寮生ならびに保護者の皆様のご理解とご協力に感謝いたします。今年度は、入学式や入寮式も実施することはできませんでしたが、男子16名、女子13名の計29名が入寮し、3学年併せて66名の大所帯とりました（県外からの入寮生18名）。本年度の全校生徒が186名ですので、3人に1人は寮生ということになります。いつもの日々が戻ってくる事を信じて、この状況をみんなで協力して乗り越えていけるよう頑張ろうと思います。そして、「自分たちの力でより良い生活を送る」という自治の精神を促し、安心・安全に生活ができ、更には学校全体を明るく元気にする寮生の育成を目指していきます。

《寮生内訳》

	1年	2年	3年	合計
男子	16	6	8	30
女子	13	10	13	36
合計	29	16	21	66

※出身地	島根	3	1	兵庫	7	大阪	7	東京	5	埼玉	2	奈良	2				
山口	2	茨城	2	広島	2	神奈川	・	京都	・	愛知	・	福岡	・	熊本	・	岡山	各1

②令和2年度 寮務部員・スタッフ紹介

【専任舎監（月～木の舎監）】

部長：桑原（保健体育）

寮務部員 藤原真（保健体育）田中（国語）佐々木（数学）陶山（地歴公民）吉田（化学）

【金～日・祝日の嘱託舎監・日直】

板垣さん・下森さん・松野さん

【炊事員】桑原さん・谷口さん・舟木さん・矢橋さん



③現在の寮生活について

5月25日（月）からの通常登校に備え、寮生はほぼ全員が在寮しています。66名が健康・安全に生活できるよう、当面のあいだ、下記のような対策をとっていきます。

- 1) 朝夕2回の検温・健康観察
- 2) 食堂での食事は3グループに分ける（密集をなくし、座席の間隔・方向に留意）
- 3) 舎室・食堂・廊下のこまめな換気
- 4) 舎監による共有スペースの消毒作業
- 5) アルコール消毒液常備・手洗いの励行

④スイーツの差し入れをいただきました

学校が臨時休業中の4月30日、東京から津和野に1ターン移住し、津和野の食材を使って『食』への取り組みを展開しておられる國方あやさんから、スイーツの差し入れをいただきました。制約・制限された生活が続いていた寮生はととても喜んでいました。津和野には、こうした高校生の応援団がいらっしゃいます。津和野生活のなかで、ぜひ、人の優しさ・温かさを感じ取ってください。



⑦県外出身の新1年生・津和野城跡を見学

県外出身の1年生寮生を、津和野城跡に連れて行きました。鎌倉時代に30年かけて作られたとされる津和野城。今はその石垣が残るだけですが、標高362m、津和野町を一望できます。天空の城とも呼ばれる津和野城跡から見えるの絶景に、県外出身寮生は心奪われていました。

⑤マスクをいただきました

この度、教育庁各課長一同様より、寮生宛に手作りマスクの寄贈がありました。不便な思いをしている寮生のためにと、教育庁職員有志の方で作られたそうです。コロナ禍のなか、心温まることがあります。



⑥洗濯機・乾燥機増台

寮生人数増加にともない、乾燥機・洗濯機を増台しました。洗濯を自分で行うことは大変なことです、これまでの親御さんへの感謝の念も生まれると思います。



⑧臨時休業中におけるご協力のお礼

3月以降、寮における新型コロナウイルス感染症対策について、随時、保護者宛文書やホームページでお知らせしてきました。特に、4月16日に全国に発令された緊急事態宣言による約1ヶ月間に及ぶ臨時休業中、県外の寮生には帰省の自粛を、県内の寮生には自宅待機をお願いし、多大なるご協力いただきましてありがとうございました。寮生が、今後も元気で安全に学校生活と寮生活を送ることができるように努めていきたいと思ひます。